

2018  
**秋**  
第191号

# しろいし 市議会だより

〔表紙写真〕

白石産ササニシキ新米試食会

- 2~4P 9月定例会の概要・審議した議案
- 5~8P 決算審査特別委員会
- 8~9P 予算審査特別委員会
- 9P 特別委員会報告
- 10~13P 市政に対する一般質問(7名)
- 14P 人事・編集後記

平成30年宮城白石産ササニシキ  
「畦かえる新米試食会」



# 9月定例会 平成29年度決算を認定 一般会計補正予算など12議案可決

平成30年9月定例会は、9月3日から9月20日までの18日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事1件、専決1件、平成29年度各会計決算の認定等2件、申立て1件、予算5件の計10件でした。

定例会初日、第57号議案及び第58号議案が提案され、採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

2日目、第59号議案及び第60号議案の質疑が行われ、決算審査特別委員会に審査が付託されました。

3日目、第61号議案から第66号議案の質疑が行われ、申立て1議案は採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。予算5議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。

一般質問は、9月18日と9月19日の2日間で、7名の議員が質問を行いました。

定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行なった後、採決の結果、いずれも全会一致で、認定、原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案2件(第67号議案及び第68号議案)が追加提案され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

## 条例等

### ◎あっせんの申立てについて

東京電力福島第一原子力発電所事故により生じた事故被害対策経費のうち、東京電力が賠償に充当していない平成28年度分の経費について、遅延損害金も含めた適正な賠償を求め、原子力損害賠償紛争解決センターに和解の仲介を申し立てるもの

のです。

### ●申立て予定額

2千317万304円

及び遅延損害金

### ◎農産物等販売施設整備工事請負契約の締結について(定例会最終日提案)

農産物等販売施設整備工事請負契約の締結について、条例の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

### ●契約の目的

農産物等販売施設整備工事

議案番号	件名	審議結果
第57号	市長提案 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第58号	専決処分の承認を求めることについて(専決第9号) (平成30年度白石市一般会計補正予算)	承認
第59号	平成29年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第60号	平成29年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について	原案可決及び認定
第61号	あっせんの申立てについて	原案可決
第62号	平成30年度白石市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
第63号	平成30年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第64号	平成30年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第65号	平成30年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第66号	平成30年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第67号	農産物等販売施設整備工事請負契約の締結について	原案可決
第68号	平成30年度白石市一般会計補正予算(第3号)	原案可決

## 9月定例会で審議した議案

※意見(賛否)が分かれた議案はありませんでした。

●契約の方法

条件付一般競争入札

●契約の金額

1億8千295万2千円

●契約の相手方

株式会社平間組

予算

◎平成30年度白石市一般会計補正予算(第2号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ3億412万4千円追加し、予算総額を14億4千841万5千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

○情報化対策事業

429万5千円

○障害児通所支援事業

422万7千円

○農産物等販売施設整備事業

338万円

○白石スキー場費

731万7千円

○温麺食文化伝承館施設修繕経費 380万円

○道路維持補修費(除雪関係経費) 5千226万5千円

◎平成30年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ3千812万5千円追加し、予算総額を38億8千423万円とするものです。

補正の主なものは、総務費を増額するとともに、前年度事業費確定による国、県支出金返還金、予備費を増額するものです。

◎平成30年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ1億9千234万3千円追加し、予算総額を38億6千572万7千円とするものです。補正の主なものは、前年度事業費確定による国、県支出金返還金及び一般会計繰入金、介護保険事業財政調整基金積立金、地域支援事業費等を増額するものです。

◎平成30年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ1千965万円追加し、予算総額を4億3千303万8千円とするものです。

補正の主なものは、予備費を増額するものです。

◎平成30年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)

補正の主なものは、収益的収入において、下水道使用料等5千598万9千円を増額、他会計補助金5千560万円を減額し、収入総額を11億3千409万2千円とするものです。

また、資本的収入において、他会計補助金5千560万円を増額し、収入総額を5億9千321万6千円とするものです。

本会議質疑より

◎平成29年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕昨年より債権管理条例を制定し、未収額を少なくしていく取り組みを始めているが、平成29年度は未収額が前年度に比べ増加している。この増加した理由、背景などを伺う。

〔答弁〕滞納整理については、例年同様、督促状から催告状の発送、差し押さえ、部課長による訪問催告などを行い、悪質な滞納者については、仙南広域行政事務組合に事務を移管し滞納整理を行っており、高い効果を得ている。

納税環境についても、市税等をいつでも納付できるよう平成27年度よりコンビニ収納を行い、本年10月以降は介護保険料、後期高齢者医療保険料もコンビニ収納が可能となるなど、整備を進めている。

また、不納欠損処分を実施しているが、その一方で滞納が増えることにより収入未済額が増え、収納率が大きく向上しないといった現状があり、数字的には効果が見えにくいものとなっている。

しかしながら、不納欠損処

分額を簡単に大きくすることはできないことから、債権管理条例に合うように、さまざまな調査を行い、職員に対する研修を行うなど、改善を図っているところである。



不納欠損処分とは？

債務者が死亡し相続人もいない場合や、時効が成立したときなどにより徴収が困難と認められ、今後も徴収の見込みがたず徴収を諦めることとなった場合に行われるのが不納欠損処分です。

また、時効のような法律若しくはこれに基づく政令又は条例に特別の定めがある場合でなくとも、地方自治法第96条第1項第10号の規定により権利の放棄が議決された際には、それを根拠として手続きを行うことも可能です。

〔質疑〕益岡公園野球場改修工事について、現在の進捗状況及び財源を含めての今後の見通しを伺う。

〔答弁〕昨年の補正も含め、現在の進捗率は50%である。

見通しについては、厳しい状況だと思っている。公園の長寿命化として、当初2年ということから採択を受けたが、市が要望している補助額をつけていただけない状況である。

昨年は地元の国会議員、県議会議員にも強力に働きかけ、補正により事業費ベースで2千万円をつけていただいた。

今後とも地元の国会議員、県議会議員を含め、関係各所にアプローチを強め、何とか国からの補助率、金額を上げてもらえるよう努力していきたいと考えている。

〔質疑〕今回の決算を踏まえ、来年度予算編成にどのように生かそうと考えているのか伺う。

〔答弁〕行政の会計年度は単年度であるが、行政の継続性は非常に重要である。

平成30年度の残りの期間、そして平成31年度をどのように方針を立てていくのかということが、決算議会では非常に大きな役割とされている。

本市の財政状況は、ここ数年、

他会計への繰り出しが非常に多くなっていることから、単年度で黒字を目指す方向性をしっかりと位置づけられるような今後の方針が必要と考えている。

◎平成29年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について

〔質疑〕下水道事業において決算額を見ると、当初予算に対し補正予算による増減が大きい。が、どのような原因があったのか伺う。

〔答弁〕下水道事業会計は一般会計からの繰入金について、どうしても運転資金として運用せざるを得ない現状があるため、このところに大きな要因があると考えている。

今後は、より精査し計上するとともに、一時借入金等の利用も検討していきたいと考えている。

〔質疑〕本市の下水道事業における中長期的な経営戦略ビジョンを立てる考えがあるのか

伺う。

〔答弁〕中長期的なビジョンは必要だと思っている。

本市の財政は基金に依存した体質になっていることから、他会計への繰り出しも含め、下水道だけではなく、全般的な市の財政状況について、中長期的な計画は今後、必要になってくると考えている。

◎あつせんの申立てについて

〔質疑〕こちらの納得のいく和解案が示されなかった場合、今後、東京電力に対し、例えば訴訟などの法的措置に訴えることも視野に入れていいのか伺う。

〔答弁〕この和解案については拘束力がないため、それぞれが拒否することも考えられる。和解が成立しなかった場合、和解仲介手続は終了するが、これまでの主張を変更したり、新たな証拠を提示し、今回と同様、再度申立てはできることとなっている。

また、民事訴訟を提起することも可能であるため、市としてはこれからも市の言い分をしつ

かりと粘り強く東京電力及び原子力損害賠償紛争解決センターに伝えていきながら、民事訴訟なども視野に入れ検討していきたいと考えている。

◎平成30年度白石市一般会計補正予算(第2号)

〔質疑〕住宅費においてスクールゾーン内危険ブロック塀等除却事業補助金が計上されているが、スクールゾーン内に限らず、対象地域を全地域に拡充した検討はなされたのか。

〔答弁〕平成30年6月に発生した大阪府北部地震のブロック塀倒壊事故を受け、宮城県では市町村担当者会議を開催し、危険ブロック塀等除却事業補助金制度の制定状況について情報共有を図っている。

今後は、スクールゾーン以外についてもしっかりと対応するように検討していく。

〔質疑〕農産物直売所建設基金繰入金について、補正予算で300万円を繰り入れているが、その用途を伺う。

〔答弁〕具体的な内容については、農産物等販売施設の運営事業者である小十郎まちづくりネットワークにおいて、強い目的意識と理念を持った魅力ある販売施設を目指すため、管理運営に必要な体制を整備することに加え、販売戦略などの策定、農産物出荷者の確保や生産管理体制の確立、チラシの作成、オープンセミナーや年間イベント計画など、速やかに供用開始に向けた準備が必要となることから繰り入れたものである。

◎農産物等販売施設整備工事請負契約の締結について

〔質疑〕工事の開始及び完成予定時期を伺う。

〔答弁〕工事の着手については、本議案を認めていただいた以降に、現場担当と詳細を詰めていきたいと考えている。

工期については、平成31年3月15日までと定めている。

# 決算審査特別委員会

第59号議案・平成29年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について及び第60号議案・平成29年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定についての2議案は、定例会3日目（9月5日）の本会議において質疑が行われた後、議長及び監査委員（小川正人）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会（委員長・四竈英夫、副委員長・佐藤秀行）は、9月7日に現地を調査し、9月7日及び10日の2日間にわたり審査を行い、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

## 一般会計

### 総務費

加があるものの、それを上回る高齢化等による高齢者の利用減少により、全体として減少したと考えている。

〔質疑〕白石市民バスの運営状況について、平成28年度と比べ、平成29年度は利用者数が若干ではあるが減っている。この減っている理由について、どのように把握しているのか伺う。

〔答弁〕分析として、越河線、白角線、二本木線で通学利用の増

平成29年度は利用者実績が見込みを上回ったことから、減少率は小さくなっていると考えるが、これは刈田綜合病院の延伸等による効果がまだあるものと捉えている。

しかし、大張線や小原線などでは高齢化によりバスを利用できない高齢者が出てきていることから、施設への入所や入院等による利用者の減少傾向が続いていると分析している。

〔質疑〕最近、インバウンドによる外国人観光客が徐々に増えてきているが、白石城の外国人入場者数は集計しているのか。

〔答弁〕外国人観光客については、白石城天守閣の入館者数を集計しているが、平成29年度においては2千791人で、平成28年度に比べ96人増えている。なお、2千791人のうち984名が台湾からの観光客という集計が出ている。

〔質疑〕交通安全活動の状況について、平成29年度は交通事故件数が少し多くなっているが、

この中で高齢者が起こした事故は何件あるのか。また、交通事故のうち、自転車事故は何件あるのか伺う。

〔答弁〕平成29年度の年代別事故については、30代の起こした事故が最も多く、次いで50代が多くなっているが、60代以上の事故は10件減の18件と前年を下回っている。

また、自転車に関する事故については、平成29年度では白石警察署管内で4件、平成28年度は7件と減っている状況である。

## 民生費

〔質疑〕子育て支援・多世代交流複合施設（こじゅうろうキッズランド）内の2階にあるままごとセットや1階のボールプールについて、衛生的な管理はどのように配慮されているのか伺う。

〔答弁〕遊具等については、現在のところは空拭きによる拭き取りを行っており、時期によってはアルコール消毒を行っている

いと考えている。なお、空拭きについては、夕方一番最後に行なっているところである。

〔質疑〕小学校入学祝い金贈呈事業について、入学祝い金として図書カードを差し上げているが、いただいた方々の反響を伺う。

〔答弁〕祝い金として第3子以降の子ども1人につき図書カード3万円分を贈呈しているが、学校の本や絵本などを購入することで本に親しむ機会が増えるなど、有効に利用されていると認識している。

## 衛生費

〔質疑〕狂犬病の予防接種について、対象犬の何%が接種しているのか伺う。

〔答弁〕平成29年度については、68.91%となっている。

〔質疑〕約30%の対象犬が接種されていないという点になるが、その対応はどのようにされているのか。

〔答弁〕接種率が低い原因として、飼い犬が死亡した場合に届け出をしていただくが、それが出されないケースが多いことから、接種率が低い結果になっていると把握している。

平成26年までは各個人に対して通知を送っていないが、接種率を上げるため、飼い主全員に対し、各種届出の提出についてのお願いを個別の通知として送付している。

それ以前は50%程度の接種率だったが、その通知以降は約70%となっている。

### 農林水産業費

〔質疑〕地籍調査事業は大分進捗状況が進んでいると思うが、これまでの問題点やそこから見える今後の課題があれば伺う。

〔答弁〕地籍調査事業の事業費は75%を国・県の補助金に依存していることから、予算の確保という課題がある。

また、調査が市街地に入っ

ていることから、一般的に土地の権利関係が複雑になっており、境界の確認は1筆ごとに土地の所有者同士での合意が必要であるため、市街地以外での調査と比較するとうしても多くの手間がかかり、時間も要するという部分が大きな問題点となっている。

〔質疑〕農業委員会の耕作放棄地対策について一定の改善が見られたとあるが、実施した施策とその結果を伺う。

〔答弁〕耕作放棄地対策については、昨年の8月から9月にかけて、農業委員、農地利用最適化推進委員及び農業委員会事務局において農地の利用状況調査を行なっている。

調査については、現地調査及び航空写真による調査を行なっているが、その中の区分けとして、農地への再生利用が可能な農地と、再生利用が困難と思われる農地に分けて実施をしている。

全体で330ヘクタールで、その内訳は、再生利用が可能な農地として163ヘクタール、再

生利用が困難と思われる農地として167ヘクタールを確認している。

再生利用が可能な農地の所有者には、その農地を今後どのように利用していくか個別に通知し、回答をいただいているところである。

### 商工費

〔質疑〕企業立地推進事業の中で、投資や新規雇用した企業に交付される奨励金があるが、新しく雇用された人数について各社ごとに伺う。

〔答弁〕平成29年度の企業立地雇用促進奨励金に関しては、1事業所ということで、5名分が交付されている。

〔質疑〕白石スキー場の収支状況と経営状況について伺う。

〔答弁〕収支状況であるが、平成29年度は、平成28年度に比べほぼ同じであった。

人数的には増えているが、収支についてはほぼ同じ状況であり、約6千万円の収入である。

人数は入っているが、収支が伸びないという状況が続いている。

### 土木費

〔質疑〕子育て応援住宅事業について、子育て応援住宅の管理戸数が2棟で80戸あるが、現在の入居状況を伺う。

〔答弁〕入居状況については、

3月末現在で47戸が入居しており、8月末現在では48戸、入居率では60%になっている。

昨年8月末では40戸だったが、現在48戸ということで、増加している状況である。

〔質疑〕子育て応援住宅について、現在48戸、60%の入居率ということであるが、せめて8割ぐらいまで入居できる

### 平成29年度 一般会計・特別会計決算の状況

[単位：円]

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	16,771,013,166	16,138,456,502	632,556,664
特別会計	8,903,931,332	8,625,759,032	278,172,300
国民健康保険	4,715,928,211	4,646,073,455	69,854,756
介護保険	3,780,188,009	3,591,522,096	188,665,913
後期高齢者医療	407,815,112	388,163,481	19,651,631
合計	25,674,944,498	24,764,215,534	910,728,964

### 平成29年度 企業会計決算の収支状況

(消費税相当額を含む) [単位：円]

会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業	979,850,576	907,602,797
下水道事業	1,013,919,298	1,330,175,582

会計名	資本的収入	資本的支出
水道事業	142,353,068	247,538,167
下水道事業	945,848,251	1,461,903,751

よう目指していただきたいと思う。

入居率の増加について、どのような目標を持っているのか伺う。

〔答弁〕入居率の増加については、毎月市の広報誌に募集記事を掲載しているほか、市のホームページ、掲示板等で周知を図っており、住宅管理を委託している民間会社においてもホームページ等でPRをしていただいている。

具体的な数値目標は定めていないが、引き続き入居率の増加に向けて、委託先の民間会社とも連携をとりながら取り組んでいきたいと考えている。

### 教育費

〔質疑〕図書館運営状況について、貸出者数が過去3年を調べると、平成26年度には約2万9千人いたものから、平成29年度は約2万4千500人まで減り、貸出資料も平成26年度には約13万7千500冊あったものが、平成29年度は約10万4千700冊と、こちらも徐々に減ってきている。

図書館利用が減少している現状をどのように把握しているのか伺う。

〔答弁〕図書館利用状況については、年々少なくなってきたが、これは人口減少により子ども数が少なくなっており、多く利用していただいている白石第一小学校の児童もだんだん減ってきていることが考えられる。

活字離れも進んできていることから、今後、乳児の保護者に絵本を差し上げるブックスタート事業など、いろいろな形で改善を進めていきたいと考えている。

〔質疑〕学校給食センター運営状況における地産地消の促進について、地元食材を積極的に活用と記載されているが、具体的にどのように努力されているのか伺う。

〔答弁〕地産地消の促進については、白石産の米、チンゲンサイ、ネギ、白石温麺といった品目について学校給食で提供をしている。



決算審査特別委員会の現地調査(左:こじゅうろうキッズランド 右:みやぎ蔵王白石スキー場)

### 特別会計

〔質疑〕特定健康診査の受診率であるが、国民健康保険データベースによると越河、大鷹沢、白川地区がほかの地区に比べて高く、一方で白石、斎川地区が低いというデータが出ている。

この件について、何か実施方法あるいは場所等に問題があるのか伺う。

〔答弁〕特定健康診査については、福岡地区以外は各地区とも公民館1カ所で行っており、公民館ごとの立地条件や建物のレイアウトの違いによる差はあるが、それ以外は基本的に同じ実施方法で行なっている。

また、中央公民館では、延べ8日間、全地区の住民を対象に実施しており、土曜日と夜間にも健診日を設け、受診機会を増やすようにしている。

ご指摘の地域の差については、今年度、各自治会からご推薦いただいている保健事業推進員とともに、各地区ごとの

強み、弱みなどを把握し、今後の事業に生かそうということとで、7月に1回目の研修と会議を行なっている。

また、10月にも同様に集まっていたとき、分析をするなどして受診率向上の対策を行なっていく予定である。

〔質疑〕人間ドックについては、受診による早期発見・早期治療が基本であると考えられる。人間ドック助成のあり方をもっとPRしていくべきと思うが、所見を伺う。

〔答弁〕人間ドックのPRについては、広報等で周知しているほか、特定健康診査の受診券発送の際にも通知を入れており、各種がん検診等の通知の際にもチラシなどを入れて広報している。

また、刈田総合病院に人間ドックの問い合わせがあった場合、本市の国民健康保険の方については、病院側で人間ドック助成を受けていただく旨の助言をしていたらPRに努めている。

# 企業会計

〔質疑〕水道事業会計において平成29年度の有収率が前年度より1・43ポイントアップしている。

この上がった経緯をどのようにつまえているか伺う。

〔答弁〕上水道の有収率アップの分析については、平成29年度において旧簡易水道の三住地区、湯元地区が統合されたことが挙げられる。

新旧簡易水道については、三住地区が大きな漏水が発見されて修理したこと、また、湯元地区の施設全体が更新され新しくなっていることから、おのの地区については平成29年度の有収率がアップしている。

平成29年度はそれを統合した形となっていることから、その影響がある程度あったものと考えている。

〔質疑〕下水道事業会計において、平成29年度は債務超過状態であり、負債の部分が大きく膨らんでいる状況になっている。

予算の立て方の方のぶれがあまりに大きいと、次の予算の立て方や経営の見通しがなかなか難しくなると思うが、今後、負債をどのように解決しているのか伺う。

〔答弁〕累積欠損金については以前よりあったが、特に東日本大震災に伴う特別損失が多額に累積しているため大きく膨らんでおり、下水道事業としては利益自体が発生していないことから、欠損金を埋めることができない現状となっている。

下水道の震災復旧工事は平成29年度で完了しており、大震災に係る損失も同年度で収束する。今後は、本市と同様の状況にある自治体も多いことから、他の自治体例も参考に、累積欠損金の処理についての検討を進めていく所存であるが、その処理には長期間を要すると考えている。

# 予算審査特別委員会

第62号議案・平成30年度白石市一般会計補正予算(第2号)から第66号議案・平成30年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)の計5議案について、定例会4日目(9月6日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・澁谷政義、副委員長・大野栄光)は、9月11日に審査を行い、すべての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

## ◎平成30年度白石市一般会計補正予算(第2号)

### 総務費

〔質疑〕新しくできる市場の愛称の商標登録手数料として、96万8千円が計上されているが、愛称が「おもしろい市場」に決定した経緯を伺う。

〔答弁〕愛称の決定については、農産物等販売施設について、市民から親しまれる施設となるよう公募により募集を行い、募

集作品の中から関係者により選定し、候補作品を決定した。その後、候補作品が商標として使用可能かどうか、登録ができるかどうかを専門家に依頼し調査を行い、使用及び登録が可能であったことから、今回、登録に要する予算を計上したものである。

### 商工費

〔質疑〕やまぶき亭の厨房修繕工事として予算が計上されて

いる。店舗は今も稼働しているが、被害状況と修繕内容、予定している工事の時期、期間について伺う。

〔答弁〕内容としては、厨房内の壁、柱の老朽化によるシロアリ被害に対する補修工事、天井や壁の塗装が劣化していることによる再塗装、厨房の床のシートが経年劣化で古くなってきており、すき間があいてきていることから、衛生環境の向上を図るためのシート張替工事となっている。

工期は11月の初旬から準備を始め、同月末をもって完成できればと考えている。

〔質疑〕やまぶき亭の修繕工事は1カ月ほどかかる見込みとのことだが、その間、例えば仮店舗での営業という予定はないのか。

〔答弁〕その間は休業し、仮店舗による営業はしないこととしている。



## 土木費

〔質疑〕スクールゾーン内危険ブロック塀等除却事業補助金について、2件分30万円の予算が計上されているが、本市のスクールゾーン内での危険ブロックは現在どのくらいと見込まれているのか。

〔答弁〕危険であるか否かを判断する詳細な調査については、今後、建設課を通じて宮城県土木事務所において調査することになるが、現段階で調査対象は385件となっている。

## 消防費

〔質疑〕備品購入費として、消防団員へのヘルメット購入費54万円が計上されており、その個数は100個とのことだが、団員の数は600名以上である。

団員全員に配付するとすれば、年次計画ということになると思うが、計画はどのように考えているのか。

〔答弁〕現在の消防団員数は608

名であるため、単純に計算すると6年かかることになるが、今回認められた消防団員等公務災害補償等共済基金の補助金などを今後も積極的に申請し、装備の充実を図っていきたいと考えている。

## 教育費

〔質疑〕遠藤家・中島家文書のうち「幕末、明治編」が完成することから予算が計上されているが、その内容、印刷部数について伺う。

〔答弁〕資料については、戊辰戦争から150年の記念の年であるということ、幕末から戊辰戦争関係の文書が収録されているものを印刷する。

部数については600部ほどを予定しており、一般頒布も考えている。

## スマートインターチェンジ設置推進特別委員会中間報告

委員長 四竈 英夫  
副委員長 菅野 恭子  
委員 保科善一郎・澁谷政義  
大野栄光・菊地忠久  
松野久郎・佐久間儀郎

定例会初日(9月3日)、スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の活動経過について、四竈英夫委員長より中間報告がなされました。  
報告の内容については、次のとおりです。

平成30年8月8日に委員会を開催し、関係部課長の出席を得て、スマートインターチェンジ設置に向けた現状について報告を受け、議員共通の認識を深め、当局との情報の共有を図るとともに、今後の進め方について協議した。  
会議において、当局より、これまでの検討経過について、本年3月に「スマートインターチェンジ整備に関する庁内検討会議」、6月に国土交通省東北

地方整備局仙台河川国道事務所、ネクスコ東北日本東北支社、宮城県等、関係機関との勉強会の開催に向けた打ち合わせを行い、また、7月には白石消防署及び大鷹沢工業団地企業へのヒアリングを実施し、整備効果の具体性、精度を高めるため、高速道路利用の実態把握を行なったとの報告があった。

また、スマートインターチェンジの整備効果について、県内のスマートインターチェンジを例に挙げ、高速道路へのアクセス性の向上により「観光の活性化」「産業の活性化」「救急医療の迅速化」が期待できるとの説明があった。

本委員会の今後の進め方としては、スマートインターチェンジの設置については、多くの段階を踏まなければならず、かなりの時間を要することから、引き続き当局との情報共有、意見交換を行う等、時宜を得た活動により、本事業の円滑な推進を図っていくことを確認したところである。

白石市議会会議録を公開しています。

白石市議会 会議録

検索

市議会のホームページに会議録を公開しております。  
このページでは、【ことばで探す】を選ぶと、キーワード入力により効率よく目的の会議録を探すことができます。  
また、注目のキーワードとして【介護保険】【きょうするくん】などその言葉をクリックするか、会議・発言者・期間で探すこともできます。どうぞご覧ください。



四竈委員長の中間報告

# 市政に 対する 一般質問

## 〳〳〳7名の議員が質問〳〳〳

9月定例会の一般質問は、9月18日・19日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

**管野 恭子** 発達障害の早期発見について

**佐藤 龍彦** 小中学校の教室におけるエアコン設置について

**伊藤 勝美** 消防団について

**佐久間儀郎** 地理的表示(GI)保護制度の活用支援について

**佐藤 秀行** 小中学校のエアコン設置について

**松野 久郎** 姉妹都市・友好都市について

**菊地 忠久** 将来的な小中学校の統廃合について

他 他 他 他 他 他

### 発達障害の早期発見について

管野 恭子



見ることで、何に興味を持ち、どのように見ているのかを客観的に知ることができるとのこと。

〔質問〕発達障害者支援法では、発達障害の症状が通常低年齢において発現することから、発現後、早期に発達支援を行うことが、さらなる適応困難・ひきこもり等の二次障害防止の上で特に重要とし、市町村の乳幼児健診においては、発達障害の早期発見に十分な留意をしなければならぬとしている。

この計測結果を、専門的知識を有した「かおTVオペレーター」が保護者に知らせることで、保護者は子ども自身が見ている世界を知ることにより子どもへの理解が深まり、また保健師は、客観的に子どもに関心を保護者に説明できることで理解が得やすくなり、その後の支援、療育につなげていきやすくなる。

視線計測装置「かおTV」は、大阪大学、千葉大学など5つの国立大学と企業が共同して開発した装置であり、子どもの視線から社会性発達の状態を確認できる機器である。画面に流れる映像を子どもが

本市の乳幼児健診時に早期発見の一助として「かおTV」を導入していくべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】「かおTV」については、先日、見聞する機会があり認識している。

当装置の導入については、購入費のほか、装置利用のための研修資格取得や発達障がい者及び保護者への支援継続に係る社会資源の整備等の課題があることから、今後、慎重に検討していきたい。

〔質問〕発達障がい者が「生きづらさ」を感じないで社会生活ができるよう、発達障害理解のための市民セミナーを実施すべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】セミナーも一つの方法ではあるが、セミナーに限定しない効果的な形式等について、専門家の意見を参考にしながら検討し、市民の理解を深めていきたい。

### 【その他の質問】

◎医療用ウィッグ購入費用の助成について

◎液体ミルクの災害時備蓄について

◎自転車保険加入を義務化する条例の制定について

12052

### 小中学校の教室におけるエアコン設置について

佐藤 龍彦



〔質問〕本市の小中学校の普通教室では、どのような暑さ対策がとられているのか伺う。

〔答弁〕「教育長」各学校において、扇風機を全て設置している。

加えて、白石第二小学校には各棟東側、西側に遮光性のあるロールスクリーンを設置している。

〔質問〕教室内の温度測定などの調査を行っているのか伺う。

〔答弁〕「教育長」教室内の温度及び湿度調査については、平成26年に実施している。

本年の暑さを受け、今年度は夏休み明けに全小中学校において調査を行い、測定結果の概

要としては、非常に暑い時期は過ぎていたが、白石第二小学校、福岡小学校の気温、湿度ともに幾分高い結果となり、また、総じて2階、3階の教室も気温は高い傾向にあった。

〔質問〕全ての普通教室にエアコンを設置した場合、予算はいくらになるのか伺う。

〔答弁〕「教育長」現在、市内小中学校の普通教室は116室あり、費用は約2億円を見込んでいます。

◎市営住宅について  
〔質問〕市営住宅の現状について、市はどのように認識をしているのか伺う。

〔答弁〕「建設課長」市営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対し低廉な家賃で住宅を提供することにより、市民生

活の安定と社会福祉の増進を図る重要な施設と認識している。

現在、市の管理する住宅の現状は、一般住宅357戸のうち、28戸が空き家となっている。

また、新たな入居者を募集しない空き家については、主に政策空き家として市が管理をしているが、政策空き家は全部で160戸あり、そのうち空き家は79戸である。戸建てについては順次解体しているが、長屋については全員退去後、解体する予定となっている。

〔質問〕今後、市営住宅の建てかえ、新築の考えはあるのか伺う。

〔答弁〕「市長」市営住宅を安全で快適な住まいとして長きにわたって確保するため、長寿命化を図っていききたい。

現時点では建てかえ及び新築の計画はない。  
◎その他の質問  
〔その他の質問〕危険なブロック塀の除去について

### 消防団について

伊藤 勝美



〔質問〕消防団員は、本業を持つ傍ら、市民の生命と財産を守るため厳しい訓練を行い、通常火災はもちろん、ゲリラ豪雨や風水害などの災害時にも迅速に対応していただいております。本市の地域防災力の中核として必要不可欠であると考えています。

本市では消防団の装備充実はどのように改善してきたのか、また、今後どのように進めていくのか伺う。

〔答弁〕「危機管理課長」最近の配備の状況については、平成28年度に全団員の雨がっぱを配備し、平成29年度に各分団の全班に各2着の防火衣を追加配備した。

消防ポンプは、平成28年度に2台、平成29年度に3台更新し、消防ポンプ積載車は、平成28年度、29年度ともに3台の更新を行い、毎年、消防団装備の計画的な更新と充実に努めている。

〔質問〕昨今、集中ゲリラ的な豪雨が各地で発生しているが、ライフジャケットやチェンソー等の装備についてはどのように考えているのか伺う。

〔答弁〕「危機管理課長」消防団の装備の基準に基づいて、国、県の補助金等を活用しながら、今後、整備に努めていきたいと考えている。

〔質問〕消防団は、地域を守る崇高な使命感を持って活動を行なっている。団員の年額報酬、活動に対する費用弁償等

について、その職責と日頃の苦勞に報いるためにも、報酬額の引き上げに取り組んでいただきたいと思うが、見解を伺う。

〔答弁〕「市長」平成27年3月に改定を行なっており、現在のところ改定の考えはない。

◎本市の文化財等について  
〔質問〕本市の郷土歴史資料を収集保存する資料館の建設事業の財源とするため、基金を設けているが、今後における郷土資料館の建設等の見解を伺う。

〔答弁〕「教育長」現在のところ、建設に向けて市内外の資料所在調査、収集を実施している段階であり、具体的な建設時期、場所、規模に関しては未定である。

◎河川の防災対策について  
〔その他の質問〕

◎公共工事発注金額の表示について

### 地理的表示(GI)保護制度の活用 支援について

佐久間 儀郎



〔質問〕地理的表示(GI)保護制度は、地域で育まれた伝統と特性を有する農林水産物食品のうち、品質等と特性が産地と結びついており、その結びつきを特定できるような名称である地理的表示が付されているものについて、これを知的財産として保護し、生産業者の利益の増進と需要者の信頼の保護を図るものである。

信じている。登録が実現するよう行政として関与・連携が望ましいと思うが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】本年5月には、白石温麺商標管理委員会よりオブザーバーとして本市職員の幹事就任依頼があったことから推薦しており、GIマーク登録の実現に向けて既に取り組んでいるところである。

る状況が依然改善されていないが、解決に向けた対応を伺う。

〔答弁〕建設課長 支障物の一時的撤去は根本的解決にはならない。

再度、原因者に道路利用者や通学する児童たちへの危険性を説明し、適切な処理をしていただくよう指導していきたいと考えている。

〔質問〕金坪川沿いの市道も通学路で、一部ガードレールもなく歩行者と車との間隔は1mもないため、いつ事故が発生してもおかしくない状況である。

合同点検箇所を含めて早急な安全対策を要すると考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】今年度中に交通安全対策を実施し、道路利用者の安全確保に努めていきたい。

〔その他の質問〕  
◎エアコン冷房設備の設置について

要対策8カ所のうち、大平森合地内、市道中道2号線付近は支障物が道路にはみ出してい

### 小中学校のエアコン設置について

佐藤 秀行



請をしたところである。

◎白石川サッカー公園について

〔質問〕現在、サッカー公園は、雨風をしのぐもの、あるいは熱中症対策にもなる日陰がほとんどなく、突然の自然現象に十分に対応できない状況である。

利用者の声を聞くと、日よけ、日陰になるものがほしいという切実な声が聞かれる。このような状況に鑑み、今後、固定式のものではなく移動が可能で、また可動式ではないかと考える。

命を守るためにも、望ましいスポーツ環境のためにも、早急に対応することが望まれるが、市長の所見を伺う。

〔答弁〕【市長】児童・生徒の健康を守り、そして学びの環境整備のため、平成31年度に全小中学校の普通教室へエアコン設置ができるよう、宮城県に対し、補助要望申

響を受けるものであるが、そのような中でも試合がスムーズに運営できるような施設整備は必要と感じていることから、日よけになるシエルトターの設置に向け、検討を進めていきたいと考えている。

◎全国学力学習状況調査の結果について

〔質問〕点数の高低ではなく子どもの生きる力を重視するという考えもある中で、全国学力学習状況調査の結果を、市として公表するに至った経緯について伺う。

〔答弁〕【教育長】児童・生徒の学力向上には学校における授業改善はもとより、家庭における家庭学習の充実も不可欠なことから、学校、保護者、市民と課題の共有を図る必要があると判断し、公表するに至った。

### 姉妹都市・友好都市について

松野 久郎



〔質問〕ハーストビル市は平成28年5月に合併し、ジョージズ・リバー市になったが、姉妹都市としての対応について伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市としては、引き続きジョージズ・リバー市との交流を望んでいるが、先方から前向きな返事がいただけないことから、姉妹都市交流の再開は難しいと判断している。

〔質問〕現在、カウラ市に友好親善訪問団として訪問しているが、今後継続していくのか。  
〔答弁〕〔市長〕ジョージズ・リバー市との姉妹都市交流の再開が難しい状況から、当面はカウラ市の学校との交流を続

けたいと考えている。

〔質問〕ベラルーシ共和国新体操チーム事前合宿招致が決定し、交流を行なっているが、東京オリンピック終了後の交流をどうするのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕同国との交流については、物産、観光、スポーツ、文化芸術、青少年交流など幅広い分野で、どのような交流が可能かを検討しながら、具体的に進める考えである。

◎有害鳥獣被害防止対策について

〔質問〕サルによる被害が市内広域にわたって発生しているが、市であつせんしている追い払い花火の活用は、地域で一斉に打つことで効果が大きかった実例もあることから、行政からの実践指導を提案するが、

所見を伺う。

〔答弁〕〔農林課長〕何度も同じ花火音を発しているとは慣れてしまう傾向があるため、現在は鳥獣被害対策実施隊により、春秋2回ずつ、合計4回の銃による追い払いや捕獲を行なっている。また、研修会も行なっているため、多くの方に参加していただければと考えている。

◎白石市役所における障がい者雇用の状況について

〔質問〕現在の障がい者雇用状況について伺う。  
〔答弁〕〔総務部長〕本年度の基準日、6月1日現在、職員35名中、障がい者雇用者数9名で、雇用率2.54%と法定雇用率2.5%を上回っている。

◎その他の質問

◎小学校の統合後の状況及び中学校統廃合の準備状況について

### 将来的な小中学校の統廃合について

菊地 忠久



〔質問〕今後、さらに子どもの数が減少するこゝとが推計されており、将来的には小中学校のさらなる統廃合も視野に入れるべきと考える。

〔答弁〕〔市長〕大きな課題である。さまざまな角度から検討・議論しなければならぬ。子どもの教育環境のため、子どもやお金、人を集中させることも一つの考え方である。多くの市民を巻き込みながら一緒に議論を行なっていくべき。

〔質問〕教育長「平成26年度に出された小中学校の在り方検討委員会の答申では、年間出生数は1学年250人程度での推移が前提だが、実際は200人程度で推移している状況である。今後のあり方につい

機関で検索すると「経路が見つかりません」と表示される。

白石市民バスをグーグルマップに掲載可能にすることで、新たな観光客の誘致と利便性の向上を図るべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕国土交通省が定めた標準的なバス情報フォーマットの整備により、経路検索におけるバス情報の充実が期待されるが、多数のデータ入力によるフォーマット作成は困難であり、作成支援ツールの整備や作成外注の必要性も指摘されている。

今後、導入済みの事業者や国土交通省での実証実験の成果等を研究し検討したい。

◎その他の質問

◎農商工連携を核とした賑わい交流拠点(しろいし Sun Park)について  
◎市長によるトップセールスについて

# 人 事

9月定例会において、次のとおり推薦することに同意しました。

## 〔入権擁護委員〕

(任期：平成31年1月1日～平成33年12月31日)

さいとう 齋藤 のり子 氏

# お知らせ

6月の全員協議会、定例会において、インターネット中継が配信できず、「ご視聴いただいている皆さまにはご迷惑をおかけしました。

インターネット中継については、これまで動画共有サイト「Ustream(ユーストリーム)」を利用しておりましたが、平成30年9月定例会以降は、「YouTube(ユーチューブ)」に切り替えて配信をしております。

詳しくは、白石市議会ホームページをご覧ください。

## 議会を傍聴してみませんか！

12月定例会は、12月7日(金)午前10:00開会予定です。

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行なっています。議場で行われる本会議(議案審議・一般質問など)や予算審査をライブ中継や録画映像で視聴できます。



- 9月定例会の傍聴者数 31人
- 9月の議会ライブ中継の視聴者数 944人

白石市議会ホームページの「白石市議会インターネット中継」をクリック



決算審査特別委員会の現地調査(益岡公園野球場)

## 編集後記

暦の上では早や霜降となり、朝夕はことに肌寒くなってきました。

さて、9月は決算議会ともいわれ、前年度の予算の使われ方に会計上、瑕疵<sup>かし</sup>がないことや財政状況を確認し、次年度の予算につなげていくためのもので、予算と同様、重要な定例会となりました。今後も市民の皆さまと議会

の懸け橋として、議会の内容を分かりやすくお伝えし、会に対する理解と関心を深めていただくため、委員一同努力してまいりますので、なお一層のご支援をお願いいたします。これからの季節、冷え込みが厳しくなりますので、お身体にお気を付けてください。

議会広報委員会

伊藤 勝美

### 議会広報委員会 委員

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 菅野 恭子  |
| 副委員長 | 佐藤 聡一  |
| 委員   | 佐藤 龍彦  |
| 委員   | 保科 善一郎 |
| 委員   | 伊藤 勝美  |
| 委員   | 四竈 英夫  |
| 委員   | 菊地 忠久  |
| 委員   | 佐藤 秀行  |
| 委員   | 松野 久郎  |